

令和 7 年度水道事業の主な取組実績について（概要）

基本方針

「青森市水道経営プラン(2019～2028)」に掲げる基本理念「真の豊かさをもたらす水環境」の実現を目指し、5つの柱のもと、各種事業を推進する。

Ⅰ 安定した給水の確保

Ⅱ 良質でおいしい水の供給

Ⅲ 災害に強い水道の構築

Ⅳ 経営基盤の強化

Ⅴ 環境への配慮

主要施策の取組状況 令和 7 年度決算（税込）

Ⅰ 安定した給水の確保

① 漏水対策事業

老朽配水管及び毎戸の漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。

- 事業内容 ・老朽配水管調査（漏水探知器による路面音聴調査）360.9 km（うち浪岡地区 10.2 km）
・毎戸調査（首聴棒による給水管の漏水音調査）120,185 戸（うち浪岡地区 6,104 戸）
- 決算額 70,266 千円

② 老朽塩化ビニル給水管改修事業

塩化ビニル配水管の布設が多く漏水履歴の多い地区の配水管布設替えに合わせ、塩化ビニル給水管の一部をポリエチレン管に改修し、漏水の抜本的解決を図った。

- 事業内容 ・給水管改修（千富町・浪館前田地区）177 件
- 決算額 52,210 千円

③ 天田内配水所配水流量計更新事業

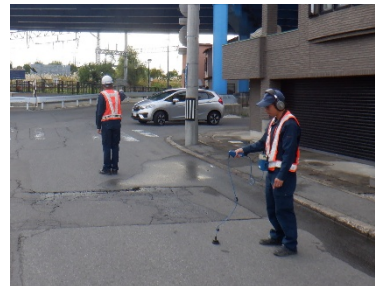
老朽化が著しい天田内配水所の流量計及び配水管を更新した。

- 事業内容 ・流量計更新工事（R6～R7 継続工事）
・流量計更新に伴う配水管整備工事（R6～R7 継続工事）
- 決算額 196,405 千円（R6 繰越分を含む）

④ 横内浄水場南系ろ過池監視システム更新工事

老朽化した横内浄水場南系ろ過池監視システムを更新した。

- 事業内容 ・中央監視装置等更新工事
- 決算額 28,930 千円



漏水探知機による路面音調調査

Ⅱ 良質でおいしい水の供給

① 配水管整備事業（令和 4 年度～令和 8 年度）

老朽管を耐震適合管等に布設替えを行い、水質劣化や漏水を防止した。

なお、漏水防止対策として、塩化ビニル配水管の布設が多く漏水履歴の多い地区を一部集中して布設替えを行い、本年度は千富町・浪館前田地区を更新した。

- 事業内容 ・整備延長 14,255m（うち浪岡地区 447m）※整備延長には受託工事等含む。
- 決算額 1,198,636 千円

■ 鶴ヶ坂地区の水道整備（新規）

簡易水道での整備を前提に、鶴ヶ坂地区の水環境の量的把握、水分布の調査を実施した。

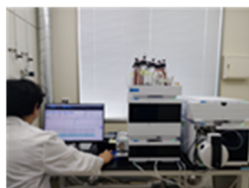
- 事業内容 ・鶴ヶ坂地区水文調査業務委託
- 決算額 3,679 千円



既存井戸の水質調査

■ PFAS への対応（拡充）

水道水の安全性確保のため、国の管理強化策を前倒しで、本年度から水道施設及び簡易水道施設での水質検査を年 4 回実施した。（昨年度は年 2 回実施）
（国では、水道法施行規則に定める法定検査回数を年 4 回として、令和 8 年 4 月から施行された。）



PFAS の分析データの確認

Ⅲ 災害に強い水道の構築

① 基幹配水管耐震化事業

大規模地震時において、基幹となる配水管の損傷を最小限にとどめ、市民生活に影響を及ぼす減断水等の発生を抑制するため、基幹管路の耐震化を図った。

- 事業内容 ・整備延長 1,220m
- 決算額 490,754 千円

② 水管橋点検委託業務

国のガイドラインに基づき、水管橋の点検を行った。

- 事業内容 ・水管橋点検委託業務（口径 350 ミリ以下の 9 か所）
- 決算額 6,688 千円

③ 災害対策用資機材備蓄事業

災害対策用資機材の効果的な備蓄を図った。

- 事業内容 ・給水タンク 2 基、応急給水用スタンド 5 台の更新
- 決算額 2,536 千円



配水管（φ500 ミリ）の更新工事

Ⅳ 経営基盤の強化

① 広報活動事業

市民の皆さまに、水道部の各種施策・事業の情報を積極的に提供した。

- 事業内容 ・「あおり水道だより」の発行（年 2 回）
・「あおりウォーターフェア」の開催（令和 7 年 7 月）
- 決算額 9,834 千円

② 広域連携の推進

経営効率化の推進等を図るため、東青 5 市町村による水道事業の広域連携に取り組んだ。

- 事業内容 ・災害訓練の共同開催（青森市で開催）
・維持管理上の水質管理の連携（蓬田村・今別町・外ヶ浜町）
- 決算額 4,103 千円

■ 隔月検針の導入（新規）

令和 8 年 1 月の検針分から、偶数月に検針する地区と奇数月に検針する地区に分け、隔月で訪問して検針する「隔月検針」を実施した。



2025 あおりウォーターフェア

Ⅴ 環境への配慮

① 資源リサイクルの推進

浄水場で排出する浄水処理発生土を肥料などとして有効利用した。

- 事業内容 ・横内浄水場発生土収集運搬及び処分委託業務
・堤川浄水場脱水ケーキ収集運搬委託業務、処分委託業務
- 決算額 28,656 千円

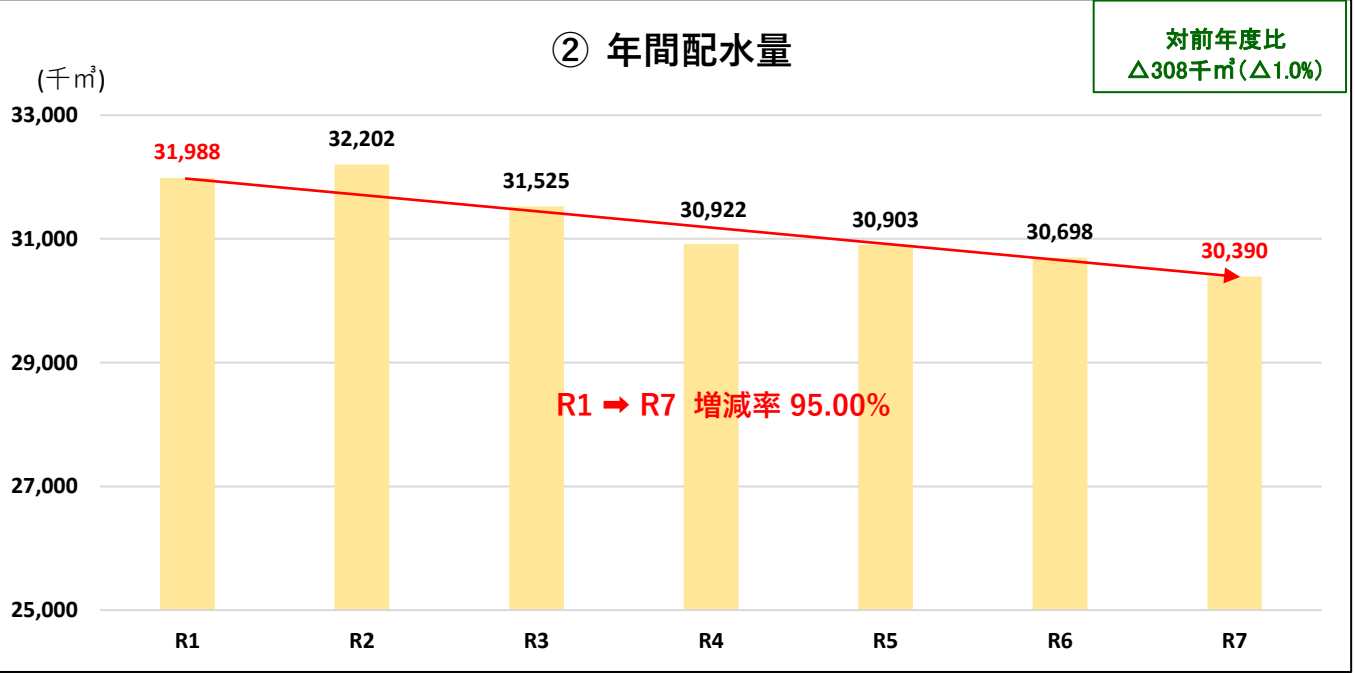
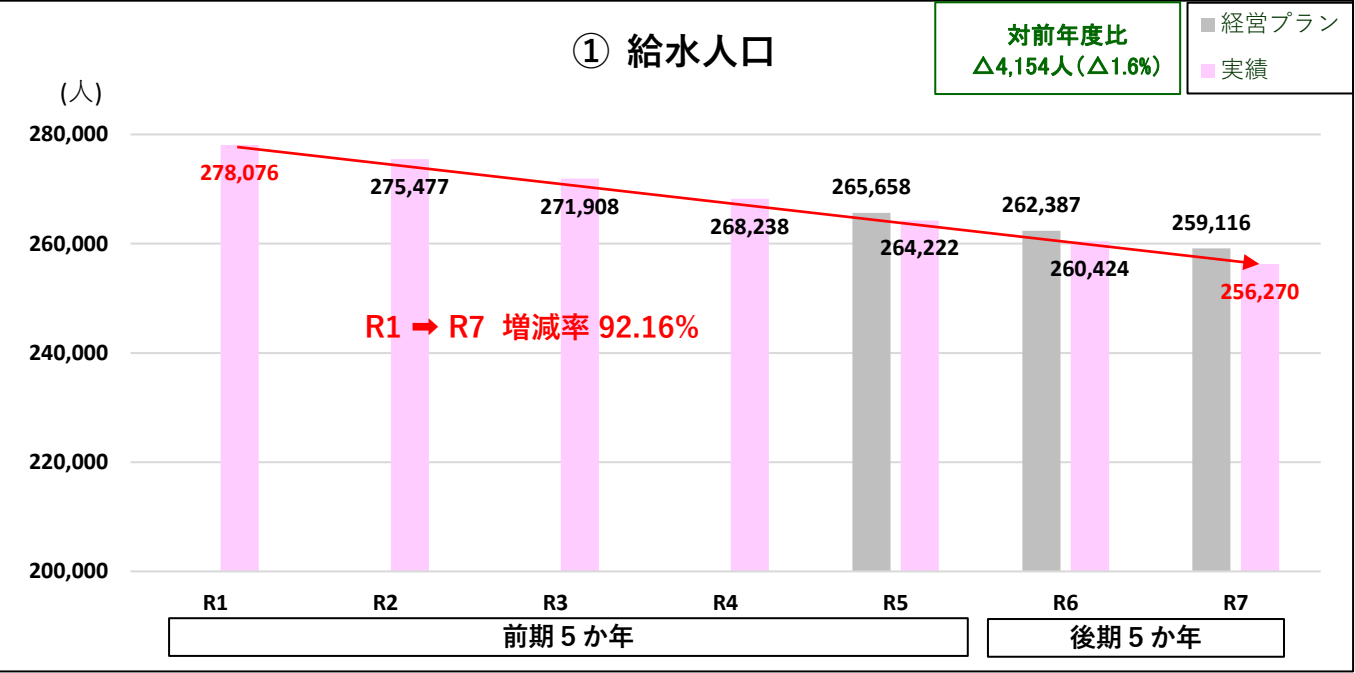
水道事業 財政収支に関する主な指標の推移

令和8年8月10日
都市建設常任委員協議会
水道部経営企画課
水道事業

令和元年度からの増減率

主要指標	R 1 年度（実績）	R 7 年度（実績）	比較(R7-R1)	増減率※
① 給水人口	278,076人	256,270人	△ 21,806人	92.16%
② 年間配水量	31,987,694㎥	30,389,612㎥	△ 1,598,082㎥	95.00%
③ 年間有収水量	28,261,567㎥	24,215,009㎥	△ 4,046,558㎥	93.29%
④ 水道料金収入	5,418,585千円	4,673,601千円	△744,984千円	93.88%

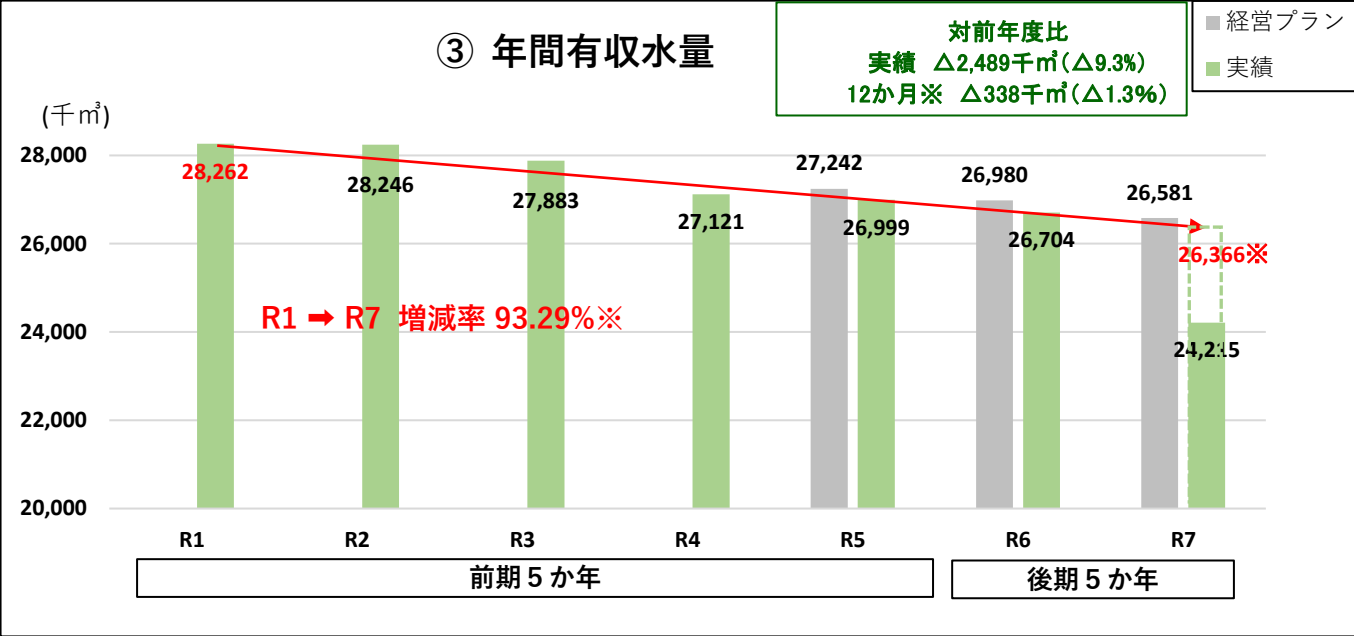
※増減率のうち③④は、12か月分で算出した数値（年間有収水量…26,366,289㎥、水道料金収入…5,086,796千円）



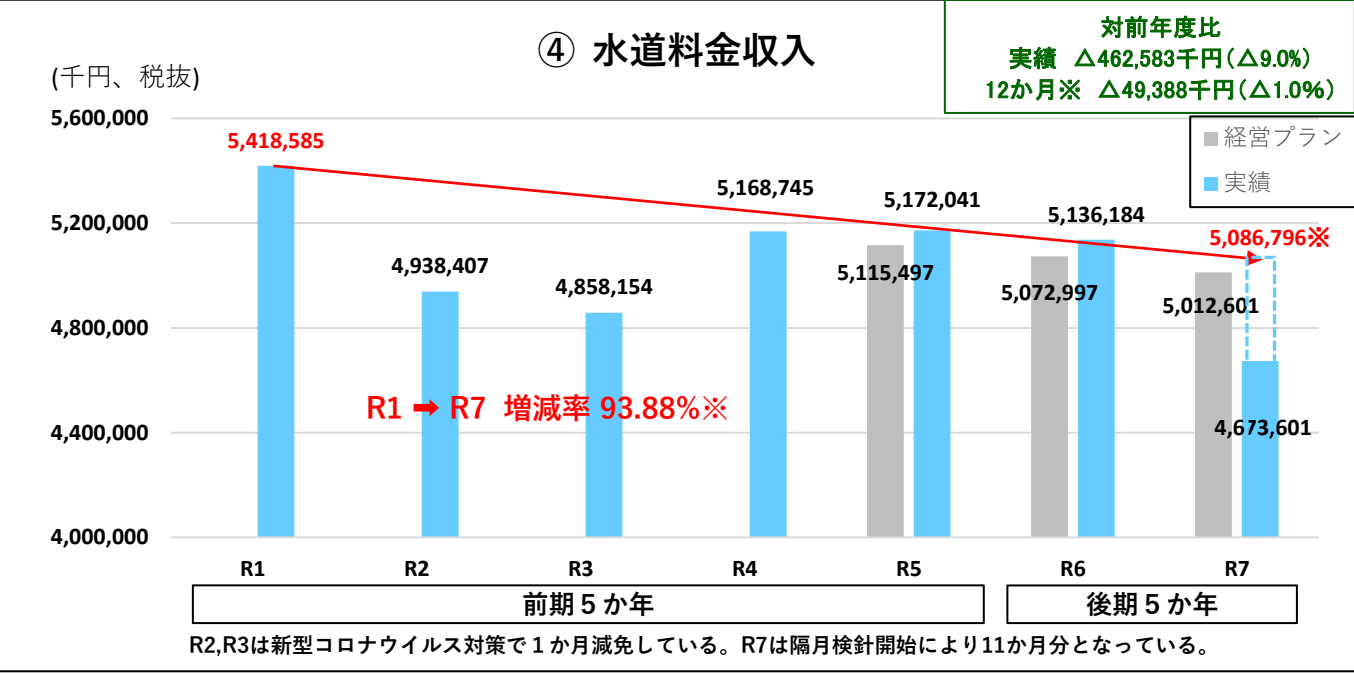
・①給水人口とは、給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口。
・②年間配水量とは、配水池、配水ポンプなどから配水管に送り出された1年間の水量。

経営プランとの比較（青森市水道経営プラン（2019～2028）令和6年3月改定版 推計値）

主要指標	R 7 年度(経営プラン)	R 7 年度（実績）	比較(R7-経営プラン)	増減率※
① 給水人口	259,116人	256,270人	△ 2,846人	98.90%
③ 年間有収水量	26,581,000㎥	24,215,009㎥	△ 2,365,991㎥	99.19%
④ 水道料金収入	5,012,601千円	4,673,601千円	△339,000千円	101.48%
有収率 ③/②×100	目標値 90.0%	79.7%	△10.3ポイント	



※12か月分で算出した数値



R2,R3は新型コロナウイルス対策で1か月減免している。R7は隔月検針開始により11か月分となっている。

・③年間有収水量とは、料金徴収の対象となった1年間の水量。
・有収率とは、「配水量」に対する「有収水量」の割合を示す指標で、有収率が高いほど水道事業の経営効率が良い。
有収率（％）＝ 年間有収水量 ÷ 年間配水量 × 100

令和7年度 青森市水道事業会計 決算(見込)総括表(税抜)【前年度比較】

令和8年8月10日
都市建設常任委員協議会
水道部経営企画課
水道事業

(単位:千円、%)

収入								
科 目			R 7 年 度 決 算 額	R 6 年 度 決 算 額	増 減		備 考	
					R7決算-R6決算	率		
収益的収入	営業収益	水 道 料 金	4,673,601	5,136,184	△462,583	△ 9.0	※令和8年1月から開始した隔月検針の影響により、令和7年度の水道料金は11か月分の計上。 参考(12か月分の場合) 水道料金 5,086,796千円	
		受 託 工 事 収 益	28,493	29,028	△535	△ 1.8		
		そ の 他 の 営 業 収 益	293,669	265,137	28,532	10.8		
		営 業 収 益 計	4,995,763	5,430,349	△434,586	△ 8.0		
	営業外収益	一 般 会 計 補 助 金	14,597	12,289	2,308	18.8		
		県 補 助 金	0	191	△191	皆減		
		長 期 前 受 金 戻 入	248,694	244,889	3,805	1.6		
		そ の 他 の 営 業 外 収 益	33,793	31,173	2,620	8.4		
		営 業 外 収 益 計	297,084	288,542	8,542	3.0		
	経 常 収 益 計		5,292,847	5,718,891	△426,044	△ 7.4		
	経 常 収 支		△100,620	326,323	△426,943	△130.8		
	特別利益	特 別 利 益	6,572	1,851	4,721	255.0		
		特 別 利 益 計	6,572	1,851	4,721	255.0		
	収 益 的 収 入 計		5,299,419	5,720,742	△421,323	△ 7.4		
収 支 差 引			△108,355	313,758	△422,113			
当 年 度 純 損 益			△108,355	313,758	△422,113			

資本的収入	企業債	750,000	700,000	50,000	7.1	
	負担金	10,040	22,610	△12,570	△ 55.6	
	補助金	1,000	1,000	0	0.0	
	加入金	43,090	63,915	△20,825	△ 32.6	
	資本的収入計	804,130	787,525	16,605	2.1	
収支差引		△ 2,069,719	△ 2,824,925	755,206		
補てん財源	過年度損益勘定留保資金	1,755,961	2,341,122	△585,161	△ 25.0	
	当年度損益勘定留保資金	0	0	0	0.0	
	減債積立金	313,758	483,803	△170,045	△ 35.1	
補てん財源計		2,069,719	2,824,925	△755,206	△ 26.7	
補てん後の収支差引		0	0	0		

科 目		支 出				備 考	
		R 7 年 度 決 算 額	R 6 年 度 決 算 額	増	減		
				R7決算-R6決算	率		
収益的支出	営業費用	職 員 給 与 費	1,259,541	1,203,737	55,804	4.6	※その他物件役務費 内訳 委託料 879,019 負担金補助及び交付金 45,173 借料及び損料 92,605 通信運搬費 66,160 資産減耗費 30,550 備消品費 29,042 その他 51,209 (光熱水費・印刷製本費等) 合 計 1,193,758
		動 力 費	174,891	186,864	△11,973	△ 6.4	
		薬 品 費	125,139	127,569	△2,430	△ 1.9	
		受 水 費	148,892	149,012	△120	△ 0.1	
		維 持 修 繕 費	280,310	315,966	△35,656	△ 11.3	
		受 託 工 事 費	28,707	37,471	△8,764	△ 23.4	
		減 価 償 却 費	1,988,192	2,002,105	△13,913	△ 0.7	
		そ の 他 物 件 役 務 費	1,193,758	1,167,991	25,767	2.2	
		営 業 費 用 計	5,199,430	5,190,715	8,715	0.2	
	営業外費用	支 払 利 息	193,645	196,929	△3,284	△ 1.7	
		そ の 他 営 業 外 費 用	392	4,924	△4,532	△ 92.0	
		営 業 外 費 用 計	194,037	201,853	△7,816	△ 3.9	
	経 常 費 用 計		5,393,467	5,392,568	899	0.0	
	特別損失	特 別 損 失	14,307	14,416	△109	△ 0.8	
		特 別 損 失 計	14,307	14,416	△109	△ 0.8	
収 益 的 支 出 計		5,407,774	5,406,984	790	0.0		

資本的支出	建設改良費	1,990,129	1,745,857	244,272	14.0	前年度からの繰越含む
	企業債償還金	883,707	866,593	17,114	2.0	
	投資	13	0	13	皆増	
	他会計貸付金	0	1,000,000	△1,000,000	皆減	
	資本的支出計	2,873,849	3,612,450	△738,601	16	

※端数処理により合計が一致しない場合がある。

【給水の状況】

項 目	R 7 年 度 決 算 額	R 6 年 度 決 算 額	増 減	
			R7決算-R6決算	率
年度末給水人口(人)	256,270	260,424	△4,154	△ 1.6
年間有収水量(㎡)	24,215,009	26,703,920	△2,488,911	△ 9.3
年間調定件数(件)	1,406,751	1,537,415	△130,664	△ 8.5

資料 4

令和 8 年 8 月 10 日
都市建設常任委員協議会
水道部経営企画課
水道事業

令和 7 年度青森市水道事業会計剰余金の処分案について

<剰余金の処分概要及び処分内容について>

【処分概要】

地方公営企業法第32条第2項の規定により、未処分利益剰余金の処分については、議会の議決が必要である。

【処分内容】

決算の認定議案と同一議案とし、減債積立金を使用して企業債を償還した後に振り替えられた未処分利益剰余金（①）313,758,013円から当年度欠損金108,354,938円の補てん分を差し引いた205,403,075円を資本金に組み入れる（②）。

負債	固定負債	企業債、引当金等	
	流動負債	企業債、引当金等	
	繰延収益	長期前受金	
		△長期前受金収益化累計額	
資本	資本金	自己資本金	
	剰余金	資本剰余金（受贈財産評価額、国庫補助金等）	
		利益剰余金	減債積立金 313,758,013円
			企業債償還後に振り替え、 当年度純損失を補てんした 未処分利益剰余金 205,403,075円

①

②